手話の基礎知識

「手話文法研究室」http://slling.net/intro/intro1.htmを引用しました

2013年7月2日

松尾　慎

手話クイズ

質問1

手話は人工言語（人為的に作られた言語）である。

質問1の回答

いいえ

手話は自然言語です。特定の誰かが考えたものではありません。

質問2

日本手話は音声日本語を手と指で表したものである。

質問2の回答

いいえ。

日本手話は音声日本語を手や指で表したものではありません。

質問3

手話では、原子力発電の仕組みや国際金融のシステムなどの高度な抽象的な議論はできない。

質問3の回答

いいえ

何でも話せます。

質問4

手話は世界共通である。

質問4の回答

いいえ

世界には少なくとも121の手話言語が存在すると言われています。ただし、日本手話と、韓国手話、台湾手話は似ています。

質問5

日本の総人口は約1億2000万人です。では、日本手話の母語話者人口は次のどれでしょうか？

１） 6000人

２） 6万人

３） 60万人

４） 600万人

質問5の回答

6万人です。
日本では、日本語、中国語、英語、韓国･朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語の次に話者人口が多い言語です。しかし、法的には認められていません。認めている国は27か国あります。

日本の手話の種類

「日本手話」: 日本語と異なる独自の文法構造をもつ手話。手だけではなく身体も使われる。

「日本語対応手話（シムコム）」: 日本語の文法や語順に手話単語を当てはめた手話の一種。中途失聴者や難聴者などが、使用することが多い。手と指、さらに日本語音声の口の形が併用されることがある。手話教室などでは、これが教えられることが多い。

質問6

日本手話を母語とする人は、日本語対応手話を使用することはない。

質問6の回答

聾者（ろうしゃ）は、場面や相手によって、シムコムを使用することがあります。例えば、公的な場面ではシムコムを使用すること（使用を強いられること）もあります。

手話の「音」

- 以下の3つの要素で構成される

1. 手形
2. 位置
3. 動き

手話のミニマルペア

ミニマルペア	黄色／なるほど		新しい／おめでとう		おかしい／かまわない	
位置	額	あご	同じ		同じ	
動き	同じ		下前方へ	上方へ	同じ	
手の形	同じ		同じ		人差し指	小指

日本手話の特徴

- 親から子へ自然に継承される割合が少ない
  ろう児の親の90%以上が聴者
  →ろう者の集団の中にいなければ自然獲得できない

- 文字を持たない言語

ろう者の種類

１．生まれながら、聴覚がほとんどない人

２．中途失聴者

「ろう者」ということば

聾唖者
↓
聴覚障害者
↓
ろう者

１）唖者＝話せない人　→　話せないのではなく、
　日本手話を話す人　→　だから、「あ」は不要！
２）「障害者」ではない　→　日本手話を話す人

東日本大震災と手話

- 枝野官房長官の横の手話は？
  - 日本語対応手話

- ニコニコ動画
  - 『ニコニコ生放送』で、“手話”によるニュース番組が始まった。東日本大震災に関する最新情報を手話に翻訳して伝えるもので、『ニコニコ動画』ユーザーらの手によりボランティアで行われている。

http://getnews.jp/archives/105793

ろう者に対する教育

あなたはどの教育がいいと思いますか？

1. 口話主義教育
2. 手話による教育
3. シムコムによる教育

ろう者に対する教育

あなたはどの教育がいいと思いますか？

１．口話主義教育

　相手の話を唇の形から読み取らせる。そして、聞こえない音を発語させる。この教育の元では原則的に手話は禁止されるか認められない。

ろう者に対する教育

あなたはどの教育がいいと思いますか？

２．手話による教育

　幼稚園、小学校の段階から手話による教育を行う。読み書きに関しては第2言語として日本語を習う。

ろう者に対する教育

あなたはどの教育がいいと思いますか？

３．シムコムによる教育

　幼稚園、小学校の段階からシムコムによる教育を行う。読み書きに関しては第2言語として日本語を習う。

ろう者に対する教育

あなたはどの教育がいいと思いますか？

1. 口話主義教育
2. 手話による教育
3. シムコムによる教育

ろう学校における教育言語

19世紀半ば　口話主義の学校がアメリカで始めて設立（それまでは、手話が認められていた）

1880年　世界ろう教育者会議（ミラノ会議）

「口話が手話よりも優れていることは議論の余地がない」という決議

→　世界の流れとなる

ろう学校における教育言語

日本

1933年　鳩山文部大臣「口話を支持する訓示」

→ろう学校が口話主義へと転換

現在　　中学生以上の生徒に対しては手話の使用を容認する傾向

→教師の大半は手話が話せない

「正しい手話＝シムコム」という発想

ろう文化宣言

「ろう者とは、日本手話という、日本語とは異なる言語を話す、言語的少数者である」

（木村晴美・市田泰弘　1995年）

「ろう者」＝「障害者」という視点から、
「ろう者」＝「言語的少数者」という視点への転換

ろう教育で何が行われてきたか

1880年　ミラノ会議

1960年代　米国

　トータル・コミュニケーション

　　人工的な手話システムの使用（SEEI,SEEII等)

　　⇒不十分な結果

1980年代　北欧・米国

　　バイリンガルろう教育

　　（手話と書記言語）

日本の例

- 2006年12月の元北海道小樽聾学校長による新聞投稿

  「手話を使わせないために両手を縛って教えたことがある。」

・手話を使うと言語が入らなくなるという考え方

　　虐待か方法論の違いか

異なる文化を持つ人々　or　障害者　？

- ろう者　　vs　聴覚障害者
- 文化的視点　　vs　医学的視点
- 独自の言語と文化　vs　聴覚に障害がある

手話＝治療が必要？？

ろう文化→（根絶が最終目的？）